

第56号令和8年3月発行
社会福祉法人財團済生会
宮城県済生会みやぎ乳児院
富谷市成田 8 丁目 4-6
TEL 022[351]5215

<https://miyagi-saiseikai.com/nyujiin/>



宮城県済生会みやぎ乳児院 施設長 杉山謙治

令和 7 年度も早いもので残すところわずかとなりました。皆さまにおかれましては、年度末を迎え何かとお忙しいことと存じます。日頃より、地域の皆さまや関係機関の皆さまから温かいご寄附やご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

先日『手のかかる子には手をかける(は一もにい第 155 号)』のコラム欄に「親というのは不思議なもので、手のかからない子には手をかけないようにになってしまうものなんですね。手のかかる子どもたちは、親の手が伸びるような、そのような振り舞いをしてきているわけです。自ら必要なものを手に入れる努力をしているとも言えるのです。ほしいものをほしいと言える強い子なのです。そして「お母さんやお父さんなら、かならずこたえてくれる」という信頼感があるからこそ「手をかけてくれ！」と主張するのですね。この激しい感情は、信頼できる人にしか向けられないものです。(中略)親にわがママを言える子というのは「安心な子」です。それだけ親に気を許し、信頼しているのですから。」と書いてありとても感銘を受け、親を養育担当者に置き換えて職員に伝えました。

今年度も多くの子どもたちが乳児院を巣立ち、それぞれの新しい生活へと進んでいきます。職員一同、安心して次のステージに進めるよう、丁寧なリーピングケアとアフターケアに努め、幸せのバトンをしっかりとつないでいきたいと思っております。

みやぎ乳児院の日々の様子は、本誌「まんまる」やホームページでもお伝えしております。今後も順次更新してまいりますので、ご覧いただければ幸いです。今後とも温かいご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

I 理念

済生会創設の精神のもとに、児童を取り巻く社会情勢の変化に柔軟に対応し、子どもが大人に守られ、大切にされ、安心して生活できる開かれた安全な養育環境を整え、入所児童の生命と人権を守り、健やかな成長を支援する。

II 基本方針

【保育目標】 素直で、明るく、優しい、健康な子の育成

- ・子どもの個性を尊重し、その人権を守り、最善の利益を追求します。
- ・子どもの発達段階に応じた生活習慣等の確立を支援します。
- ・子どもとの愛着関係を育み、豊かな感性を育てます。
- ・子どもの気持ちをくみ取り、また意見を聞きながら自立を支援します。
- ・子どもの成長を喜び、再出発(家族再統合、里親養育等)を支援します。
- ・職員は、子どもとの関係性を常に重視し、向上心、探求心を持ち、柔軟に子どもたちを支援します。



雪遊び



今年の冬もたくさん雪遊びをしました！
バレンタインでは子どもたちがクッキー作りに
初挑戦しました！上手にクッキーができてあが
り、美味しく食べられました♡



節分

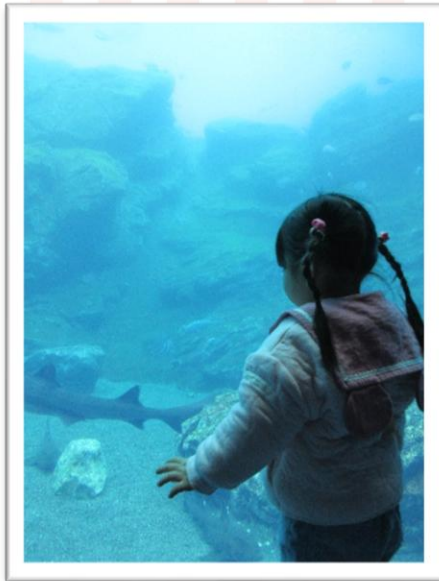


バレンタイン



ひな祭り

院外保育



編集後記

令和7年度の「まんまる」最終号となります。子どもたちはげんきいっぱいにご過ごすことができ、今年も様々な場所へお出掛けしました。産後ケア事業も始まり、広報誌やホームページにて情報を発信していくことができました。新年度もかわいらしい子どもたちの様子をお伝えしていきたいと思ひます。

各ホーム 一年の振り返り

さくらホーム

今年度のさくらホームは、11ヶ月児1名と、1歳児1名と、2歳児3名の計5名でスタートしました。12月まで8か月間は同じ顔ぶれで過ごし12月に新しい児を迎え入れ6人の部屋になりました。年齢差はありましたが、互いに良い刺激を受け6人みんな大きく成長することができました。年長児3人は乳児院を巣立ち新しい環境へと移ります。残りの日々も楽しく過ごせるよう職員全員で支援をしていきたいと思ひます。

ゆりホーム

今年度は4歳児を中心にどんどん遊びが展開していき、お世話ごっこを楽しんだり虫や自然に触れてみたり、何にでも興味を持って面白いことを探求する毎日でした。年少児も遊びを覗きに行くと真似っこしながら、沢山刺激を受けてすくすく成長することができました。みんな一緒に泣いたり笑ったりしながら、残りの日々を大切に過ごしていきたいと思ひます。

なのはなたんほほホーム

今年度は入退所や進級で子ども達の出入りは多かったですが、そんな環境の変化の中でもすくすく自分らしく成長する姿と沢山の笑顔を見せてくれていました。来年も子どもたちがのびのびと過ごせるよう、そして大人が良い関わりを持ち、より良い保育を提供できるような一年になればいいなと思ひます。

ちゅうりっぷホーム

今年度は退所や進級があり、1歳から4歳までの幅広い月齢のお友達との生活となりました。時には玩具の取り合い等で泣いたり怒ったりする時もありますが、年長さんが工夫して遊ぶ姿を年少さんが見て真似しようとする様子も見られ、成長が感じられた1年でした！次年度まで残り少ないですが、楽しい思い出が作れるよう見守りたいです。

ひまわりホーム

今年度は1歳児から5歳児までその時々で入れ替わりがありながら、常時5~6名の子ども達と一緒に過ごしました。戸外遊びが大好きなひまわりホームの子ども達は、夏は水遊びを大いに楽しみ、春や秋はお散歩や公園で目一杯遊びました。年齢差はありますが、お互いに関わり合いながら笑顔がたくさん見られる一年でした。次年度を健やかに迎えらるよう、残りの日々も成長を見守ってきたいと思ひます。